

公民館運営審議会 会議概要

1	審議会名	平成28年度 第1回公民館運営審議会
2	日時	平成28年5月30日 午後2時から午後4時まで
3	会場	安曇野市役所 会議室301
4	出席者	内田 浩志会長、佐治 良夫副会長、羽重 暁雄委員、隼田 和子委員、 曾根原 幸人委員、西川 則子委員、峯村 宏委員、関 晏弘委員、佐々木 重昭委員、熊井 美和子委員、栗幅 宣吉委員、三好 さき子委員、田中 吉弘委員
5	市側出席者	橋渡教育長、山田教育部長、中央公民館蓮井館長、豊科公民館内川館長、 穂高公民館中田館長、三郷公民館千國館長、堀金公民館山田館長、明科公民 館安井館長、中央公民館藤森主事、臼井主事、田原主事
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成28年6月7日

協 議 事 項 等

1	会議の概要
(1)	開 会 蓮井中央公民館長
(2)	あいさつ 橋渡教育長
(3)	委嘱書交付
(4)	自己紹介 全員
(5)	安曇野市公民館運営審議会について（藤森主事より説明）
(6)	会長及び副会長の選出について（会長 内田 浩志委員、副会長 佐治 良夫委員）
(7)	協議事項
	①平成27年度公民館事業報告について
	②平成28年度各公民館の運営方針と事業計画について
(8)	その 他 なし
(9)	閉 会 佐治副会長
2	協議事項
	①平成27年度公民館事業報告について（説明：各公民館長、中央公民館藤森主事）
	②平成28年度各公民館の運営方針と事業計画について（説明：各公民館長、中央公民館藤森主事）
	<b>【委員】</b> 中央公民館について質問があります。穂高では、教養講座を各地区及び各地区公民館で開催しています。中央公民館としては、全市的に全地区で何か教養講座を行っていますか。現在、中央公民館における生涯学習の活動がまったく全く表に出てこないように思います。今後、中央公民館では市の統一感を図るために、どのような活動を行っていく予定でしょうか。例えば、中央公民館主催の事業を5地域公民館でも同日開催するなどをすれば、市の統一感を図れるのではないかと思います。
	次に、公民館の定義に、義務教育以外の社会教育全般を行うとあります。義務教育については、PTAと育成会が行います。事務局からの説明だと、子ども中心の事業が多くあります。子どもが参加すると確かに参加者が増えますが、子どもについては他に担うところがあるので、そこで行うのが筋ではないかと思います。
	<b>【事務局】</b> 教養講座について、各地域公民館においては昔から伝統的に行っているもの、また現在のニーズに合わせた新しい事業などがあります。中央公民館としては、総合芸術展を開催しています。講座としては、少し薄くなっていますが、その他、公民館大会や公民館報の発行及び各地区公民館への助成などを行っています。子ども中心の事業が多いということについては、社会教育法については学校教育

の対義語としてありましたが、現在は社会教育というよりも生涯学習としての捉え方によって変わってきています。子どもたちが地域の中でさまざまな伝統行事に参加することや、青少年健全育成の観点からも広い世代に参加してもらい、地域全体で地域の子どものを見ていくことが大切であると捉え、地域公民館の事業もそのような考えで、生涯学習としてその色合いが強くなっていると思います。

**【委員】** 安曇野市公民館の理念というものが制定され、公民館事業の推進の方向が非常にわかりやすくなり、とても良いと感じています。この公民館理念を広報などに載せる予定はありますか。

**【事務局】** 公民館理念については、本年2月発行の公民館報に掲載しました。また、市ホームページにも掲載しています。

**【委員】** せっかく、各公民館がこの理念に沿って事業を行っているので、地域ごとに年間行事の一覧表などを公民館に掲示したり、各家庭に配布するなどを行えば、もっと市民の関心が得られるのではないかと思います。そのようなことは、可能でしょうか。

**【事務局】** 既に決定している事業もありますが、事業内容の詳細が確定していないものもあるので、行事ごとにその都度、広報などへ掲載しています。事業をできるだけ早く確定してお伝えできるようにしていきたいと思っています。

**【委員】** 事前に年間行事を知ることができれば、聴きたい講演や参加したい講座などを発見しやすいのかなと感じましたので、もし可能でしたら一覧表を作っていたらと思います。

**【委員】** 豊科公民館についてですが、地区公民館と対等な関係で事業を行っていくという姿勢はとても良いと思います。事業の計画段階から地区公民館に参加してもらうことで、事業に対する責任感などが生まれ、参加者が増加するのではないかと思います。また、三郷公民館の1年で達成することを目標にするのではなく、何年かかってもいいからやろうという気持ちで事業を行っていけば、より良い事業になっていくように感じました。先ほども出ましたが、地区公民館においても小中学生や高校生が参加する行事は少ないように思います。子どもが参加すれば数は増えますし、世代間交流にも繋がります。子どもが学校教育とは別の公民館としての活動に参加することで、世代間交流や地域の絆が深まると思います。また、地域にどのような子どもがいて、どのようなお年寄りがいるかを知ることによって、地域の安全も向上します。このことから子どもの安全を確保した事業の計画というのが必要だと思います。また、地域が発展していくには若い力が必須ですので、子どもや若者から意見を聞き、取り入れていくことで多世代が参加できる行事が増えていけばいいと考えます。

**【委員】** 安曇野市歌の浸透が遅れているように思います。会議の始めに市歌を斉唱するなどして、市歌の浸透を図るという事はしないのでしょうか。

**【事務局】** 今月に行いました公民館大会では、市歌の斉唱を行いました。今後もこのような機会を使って市歌を歌っていきたいと考えています。

**【委員】** 先日の公民館大会でもありましたが、公民館事業を継続していくには、ニーズに則したものに变化、進化させていく必要があります。穂高公民館の市民運動会についても、どうにか継続できないものかと思っています。

**【委員】** 穂高地域の運動会について検討委員会が発足しているということですが、経過としては現在どのような状況でしょうか。

【事務局】本年4月から2回、検討委員会会議を開きました。現在のところは、まだ何も決まっていません。合併以降、年々参加する区が減ってきており、昨年度の参加区は23区中12区でした。市民運動会の継続について各区にアンケートを取ったところ、継続しないという意見が23区中20区でした。区対抗の運動会については、ほとんどの地区で継続の意思がない結果となりました。また、穂高地域全体で行うイベントをした方が良いという意見が、全区中3分の2ほどあったのを受けて、本年度、イベント検討委員会を発足しました。2回を終えて多数の意見が出されましたが、方向はまだ定まっていない状況です。

【委員】私が子どものころは、8つの町内会から成る地区で毎年お盆に野球大会がありました。昔から継続してきた行事でした。しかし8年ほど前に無くなり、その代わりに流行し始めていたマレットゴルフになりました。思い切って種目を変えた町内会対抗の大会ですが、意外にもその後継続しました。何とか穂高地域の方にとって、良い行事を早く見つけてもらえればと思います。また、見つけるために、違う角度から検討していただければ明るい方向が見えてくるのではないかと思います。

【事務局】私が担当になった時には、もう既に参加する区が減少していました。できれば、減り始めのもっと早い段階でニーズに合ったものに変化させることができているのであれば、現在のようにはならなかったのではと思います。平成29年度には何か新しい行事を行う予定ではありますので、本年9月までには決めていきたいと思っています。

【委員】15年ほど前、私が穂高地域で地区の公民館長を務めたときに市民運動会への参加を脱退しました。その時は地区内全戸にアンケートを行い90%が参加に反対を示しました。選手層の薄い地区への負担が大きいことなど原因は沢山ありますが、運動会を復活させるのは厳しいのではないかと思います。

【委員】私はそのようなことを言っているのは全てが止めになってしまうと思います。現在運動会を行っていて、年間行事のトップ3位にもなって成功している地域もあるわけですから、そこから学ぶ必要があると思います。まず行事において、三世代が一緒になって参加できる行事は運動会以外ありません。参加できている地区がどうして参加できているのかを、参加できていない地区が共有する必要があるように思います。

【委員】決してまだ穂高地域が運動会をやめようとしたわけではありません。ここで結論を出すことではありませんので、今回出た意見を参考にいただければと思います。堀金地域の運動会についてですが、一度だけ村民運動会をやめたことがありました。それまでは地区対抗で行っており、区長がやめてしまいました。しかし、地区がやめた運動会をそのまま地区公民館が引き継いで、地区対抗の種目を無くして各種団体、子どもだけの種目や老人クラブが参加する種目など楽しいものに変えていきました。それからは中止の動きというのは無いように思います。地区対抗ではない運動会にすると、子どもからお年寄りまで楽しんで参加できるのではないかと思います。

【委員】豊科公民館についてですが、平成27年度決算額と平成28年度予算額に大きく増額が見られますが、その理由は何でしょうか。

【事務局】昨年度、球技大会については雨天により中止になりました。その分が決算時に減額されています。

【委員】予算の金額などについては館長ではなく地域課の職員が対応しているのではないのでしょうか。

【事務局】予算については、行政職員で対応しています。中止になった場合、その年に準備したものを翌年度に持ち越して利用したりすることもあります。しかし、金額の増減の具体的な原因については、

申し訳ありませんが今ここでは回答できません。

**【事務局】** 運動会の予算増額については、昨年度トイレが少なくて足りないので、本年度は仮設トイレを増設することになりました。